

科学酒場 in Calvados

Dec. 22. Sat. 18:00- Fee/1,000yen

ゲストサイエンティスト

宇澤達 (名古屋大学大学院多元数理科学研究科 教授)

「数学の言葉で言う」と

数学は天文学と並ぶ歴史の古い学問です。シュメールの粘土版には紀元前3000年くらいから記数法が発達してきたことがわかります。現在の時間の表示 (60秒=1分、60分=1時間) などのもとになっている60進法、位取りの概念などもその頃からありました。その当時から**数学**は、測量、天文、経済の問題を記述するために発達してきたのです。この話では、このような歴史を振り返りながら、現在の**数学**がどのような現象を記述できるのかといった話をしたいと思います。その中で、「**数学**はなぜこんなに強力なのか？」(物理学者のウィグナーが "The unreasonable effectiveness of mathematics" といったことに対応します) 「**数学**脳はあるのか？」(アインシュタインはしばしば言語ではなく、筋肉感覚に相当するもので**数学**を考えるとっています) 「ファイナンスで**数学**が役に立つというけどなぜ？」(いろいろ前提があります) 「**数学**は役に立つけどなぜ**数学者**は役に立たないの？」といった問題に触れ、皆様への話題提供としたいと思います。



Prof. Tohru UZAWA

プロフィール●1985年 東京大学大学院理学研究科修士課程修了。85年 米国イェール大学数学科博士課程入学、90年 同満了。1990年 米国イェール大学数学科博士号取得。

研究経歴●1990年 米国ペンシルバニア州立大学 助教授。91年 東京大学理学部数学科 助手。92年 東北大学理学部数学科 助教授。98年 立教大学理学部数学科 助教授。2002年 名古屋大学大学院多元数理科学研究科 教授、現在に至る。

スウィートな週末の夜に！
師走のクソ忙しい時に！
数学の話で盛り上がろうなんて
洒落たヤツは、いるのか？！
誰か、カルヴァドスを「言葉」で
炎上させてくれ！

参加申込は不要です。直接お店においでください！

●主催：カフェシエンティフィック名古屋

<http://www.info.human.nagoya-u.ac.jp/lab/phil/cafe/>

●協力：カルヴァドス 名古屋市千種区内山3-20-6 TEL.052-733-8467

JR/地下鉄東山線「千種」駅 ③出口徒歩5分



Café Scientifique Nagoya